

# 庁議の概要

開催日 平成 22 年 1 月 4 日 (月)

## ◎項 目

- 1 知事からの年頭のあいさつ
- 2 各部局等の動向について【各部局等】

## ◎内 容

### 1 知事からの年頭のあいさつ

- ・今年の大河ドラマ「龍馬伝」の放映が昨日から始まり、非常に追い風の吹いている中、今年は高知県を一段上のレベルに持っていくための挑戦の年だと思っている。
- ・昨年はいろいろな新しい取り組みを初めて実行するという事で、「実行元年」と位置づけて仕事に取り組んでもらい、新しい取り組み、かつて高知県でしていなかった取り組みを進めてきた年ではなかったかと思う。その土台と、大河ドラマによる全国的な注目という追い風を生かして、この1年が終わったときに、高知県は随分変わった、また一つ上のレベルに至ったと言えるような年にしていきたい。そのためには、単に追い風に乗っていれば何とかなるだろうという受け身の姿勢ではいけないと思う。挑戦をしていくという姿勢で取り組んでいくということが必要である。
- ・産業振興計画については、概ね 11 月ぐらいまでにほとんどの計画は実行し始めた段階になっているのではないかと思う。その取り組みの成果を、この 3 カ月間縦横に出していく。そして、実行の過程での批判や提言を生かして計画をさらにもう一段バージョンアップをし、より実効性の高い政策に練り上げ、それを 4 月から徹底して実行していきたい。また、その過程では、昨年間に得たいろいろな成果の芽、兆しといったものや、変えるべきところは変えたということをお示ししていきながら、県民の多くの皆様にご参画いただく形で産業の振興を図っていきたい。
- ・予算については、昨年 12 月にも議論をさせてもらった。予算編成過程でもう一段深まった議論をすることになると思うが、予算編成過程を乗り切り、そしてこの 1 年間で大いなる成果を出していきたいと思っているので、よろしく願いたい。
- ・日本一の健康長寿県づくりに向けては、医療センターをどうするかという問題、医師確保に向けた仕組みづくり、そして高知型福祉という三つの大きな柱がある。昨年 1 年で、それぞれ一定整い、いよいよ構想を実効性のある形で打ち出していける時期がきたのではないかと考えている。中山間地域の高齢者の皆様方が希望を持ち、若いお母さんたちも希望を持っていただけるような県にしていくための日本一の健康長寿県づくりに向けた構想を作っていきたいと考えている。
- ・インフラ整備は、引き続き着実に進めていかなければならない。昨年 1 年間、インフラ整備の必要性を国に訴えてきたが、これをしっかりと国や国民全体にも理解していただけるような内容で訴えていくことが今年の一つの大きなテーマになると考えている。
- ・南海地震対策については、去年策定した行動計画に基づき、着実に実施、実践をしていく年になる。
- ・ある報道では、昨年の県民 10 大ニュースの一番は新型インフルエンザであったことから、いかに新型インフルエンザ問題について多くの県民の皆さんが不安を抱えているかということを改めて実感した。引き続き、新型インフルエンザ対策にも万全を期してもらいたい。
- ・教育委員会においても、ある意味今年が勝負の年になると思う。昨年 1 年、いろいろな形で教育施策を講じてきた。今年は、具体的な成果に繋げ、それによって、多くの子どもたちや保護者の皆さん、

教育関係者の皆さんにも希望を持ってもらえるような年にしていきたいと考えている。去年は体力づくりの面で目覚ましい成果を上げていただいたが、今度は学力の面でもぜひ結果を出していただきたいと思っている。

- 昨年末のニュースでは、全国でも人口減少が非常に加速をしてきているということであった。これから日本全体として、人口減少、高齢の時代に本格的に突入していく時代が来るだろうと思っている。人口減少と高齢化は経済に対して著しいマイナスのインパクトを与えるし、福祉についても特に中山間地域の孤立化問題などという形で深刻な影響を与えていくこととなるだろう。そして、地域の支えが弱まっていくということは、教育にも大きな影響を与えていくと思っている。この人口減少問題、そして高齢化という問題にどのように対処するかが、我が国全体としての、今後 20 年、30 年の課題であり続けるだろうと思っている。
- 高知県においては、この現象が随分前から起こっていて、実際にそれに伴うマイナスの影響が具体的な形で県全体に影響を及ぼしてきているが、日本全体もこれから人口減少と高齢化ということに苦しみ始めることになるだろう。高知県は真っ先にこの人口減少と高齢化問題に対して処方箋を示す県とならなければならないと思っている。おそらく先例のないことであり、それを克服していくということは本当に大変なことであるが、それを克服した姿を見せていくことによって、高知県ほど魅力のある県はない、多くの若者を高知県に送りたい、高知みたいな所で住みたい、と多くの方が思ってくれるような県にしていきたい。簡単なことではないが、去年、いろいろな対策を実施し、一定の手応えや追い風も感じているのではないだろうか。ぜひとも夢と希望を持って頑張ってもらいたい。
- また、長期的な視点と全国区的な視野を持って仕事を進めてもらいたい。例えば、大学の改革では、文化や歴史の視点も大切にしながら、長期的に高知県の子弟をどのように教育し、どのような文化の香る県にしていくか、といった長期的な視点も大切にする。高知県の中だけに閉じこもることなく、大きな時代の流れの中で高知県がどのような位置にあるのかを客観視し、全国的な視野の中で高知県のことを考えるという視点を持ってもらいたい。
- 今年は寅年なので、元気よく、挑戦の視点を持って、追い風に単に身を委ねるという姿勢ではなく、前向きな姿勢で仕事をしていきたい。今年も副知事の助けをもらいながら、粉骨砕身、努力を重ねてまいりたいし、また、庁議メンバーの皆さんも一緒に頑張ってもらいたい。本年もどうぞよろしくお願ひします。

## 2 各部局等の動向について【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局の今週の動きに関する資料を配布の上、各部局等より概要説明を行った。